



地元住民と高速道路利用者の交流拠点、吉野川ハイウェイオアシス。



多くの声援を背に繰り広げられる地元「みのだ連」の阿波踊り。



吉野川ふれあい館前の農産物直売所。

### ●事例の概要

- 古くから交流体験事業に積極的に取り組んできた町に、高速自動車道が開通、サービスエリアに隣接して「吉野川ハイウェイオアシス」が建設された。
- ハイウェイオアシスの整備に併せ、特産品開発や産直野菜の生産販売、阿波踊り連などの各団体による組織的活動が定着し、アイデア発案や実行力に磨きをかけてきている。
- 地域住民が主体となった交流イベントや産地直売市等を積極的に開催し、地域のにぎわい、都市住民との交流や地元農産物の販売振興、雇用の創出に成果をあげている。

○評価のポイント

三好町は、徳島県の西部、吉野川上流の北岸に位置し、総面積は54.84 km<sup>2</sup>で約8割が山地で急傾斜地が多いが、比較的ゆるやかな斜面には耕地が開かれ集落が点在し、吉野川沿いには水田地帯が広がる、古くから農業の盛んな地域であった。

町では古くから交流体験事業に取り組んでいたが、平成12年に徳島自動車道が開通したことにより、これまでの小規模な交流事業を礎として、交流人口の増加に対応する新たなステージを迎えることとなった。

サービスエリアに隣接する地域拠点整備事業として「吉野川ハイウェイオアシス」を建設するとともに、ハイウェイオアシスを拠点とする活動組織として、農家の若手婦人を中心とした「三好町特産品推進研究会」や「安く安全、そして新鮮!!」をモットーとする「吉

野川オアシス農産物直売所運営協議会」、町内の若者が中心となった阿波踊り連「みのだ連」などが相次いで設立され、ハイウェイオアシスがオープンして約5年が経過し各団体の組織的活動も定着、それぞれアイデア発案や実行力に磨きをかけてきている。

今では三好町の人口の170倍にあたる年間約110万人が来町するまでとなり、交流人口の拡大に寄与している。またハイウェイオアシスを運営する第3セクターも平成12年3月の開業以来、黒字経営を続けており、地元の貴重な雇用の場となっている。

このように地域住民が主体となった交流イベントや産地直売市等を積極的に開催し、地域のにぎわい、都市住民との交流や地元農産物の販売振興、雇用の創出に成果をあげている点が評価された。



多くの利用客でにぎわう物産センターには、特産品研究グループで開発した商品が並ぶ。



毎週日曜日実施しているふれあい市。商品がなくなり次第終了。

ミヨシチョウ  
徳島県 三好町



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
8,323	6,312	6,213	6,228	6,174

人口増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
△25.8	△2.2	0.2	△0.9

高齢者・若年者比率(12年)

高齢者比率	25.6
若年者比率	14.6

交通のご案内

- 自動車** 徳島自動車道井川池田ICから10分  
(徳島自動車道吉野川ハイウェイオアシスマートIC(ETC専用))
- 鉄道** JR徳島本線辻駅から5分
- 飛行機** 徳島空港から自動車70分

団体連絡先

- 名称** 三好町
- 所在地** 〒771-2595 徳島県三好郡三好町大字屋間3673番地の1
- 電話番号** TEL(0883) 79-3111(代表)
- URL** <http://www.town.miyoshi.tokushima.jp/>